



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：イエメンとの共同経済産業地区

(8月15日付「リヤド」紙)

アブドラー・ビン・マフフーズ「サウジ・イエメン・ビジネス協会」事務局長の発言。

1. サウジアラビア・イエメンの両国は、両国国境地帯の「アル・ワディーア」地区に、総工費5億ドルで共同経済産業地区を創設することを決定した。同事業は、本年末に開催される「サウジ・イエメン調整委員会」の承認待ちだが、第一フェーズは3年後に終了する予定。同事業に関しては、イエメン政府は既に承認しているが、サウジ側では同事業に関する調査報告書が経済産業省に提示されたところである。
2. 同事業は基本的に、両国間の商品取引のための経済地区、商品倉庫の建設、農産品及び家畜を始めとするイエメン産品の輸出、サウジの規格に沿ったイエメン産品生産のためのビン・箱詰め工場の建設から成っている。同共同経済産業地区を経由する商品の80%はサウジに輸出され、残る20%は他の湾岸諸国に輸出される。
3. 同共同経済産業地区は、両国の民間セクターの出資により、幾つかの段階に分けて創出される予定で、第一フェーズで1億ドルの事業費が見込まれている。当該事業については、両国間の合意に基づいて、サウジ側が70%、イエメン側が30%の出資を行うことが合意されている。
4. サウジ・イエメン間の貿易量は、両国政府間の「商品取引の簡素化に関わる合意」を始めとする重要な経済関係協定への署名以降、過去4年間で目覚ましい伸びを示している。